

# 業績目録

(平成十五年一月～十二月・五十音順)

● 亀井 千明

〔口頭発表〕

〔仮名による私語りの顛末―志賀直哉『大津順吉』―〕(阪神近代文学会・七月十二日(土) 於・甲南大学)

〔非(原爆文学作家)としての出発―大田洋子『屍の街』―〕(第九回原爆文学研究会・十二月二十日(土) 於・九州大学)

〔論文〕

〔志賀直哉『城の崎にて』 試論―(私小説)―(心境小説)―(神話の実態)―〕(『近代文学試論 第四十号』、平成十四・十二)

〔志賀直哉『剃刀』 論―(アンチ・犯罪小説)―〕(『甲南女子大学大学院論集文学・文化研究編 創刊号』平成十五・三)

● 八木 直子

〔論文〕

〔鬼―法眼譚の構造 ―『義経記』を中心に―〕(『甲南女子大学大学院論集文学・文化研究編 創刊号』平成十五・三)

平成十五年度

人文科学総合研究科 日本文学専攻

院生研究発表会題目

七月九日(月)

志賀直哉(順吉もの)の作品系譜について

博士後期課程三年 亀井 千明

雄略天皇像の再考―『古事記』の植物を手がかりとして―

博士後期課程一年 田中 千晶

『平家物語』巻九敦盛最期に関する一考察

博士前期課程一年 玉田 聖子

十二月十七日(水)

〔―ている〕の考察―中国語との対照から―

博士前期課程一年 周 士冬

『夜の寝覚』中間欠巻の復原について

―改作本『夜の寝覚』と『無名草子』から―

博士後期課程二年 唐 娜

常盤の物語について

博士後期課程二年 八木 直子